

山 梨 県

山 梨 県 退 職 校 長 会

◎結 成 = 昭和40年（全連退に加入・公立小中学校 退職校長）

全連退50周年、おめでとうございます。

山梨県には、平和のシンボル世界遺産の「富士山」があります。そして今は「夢」があります。県内を東西に走る「中央道」があり、南北を結ぶ「中部横断道」がまもなく開通します。次の羊年には「リニア中央新幹線」が甲府盆地を走ります。

もうひとつ誇れるのは、教育に携わる全ての人や組織が連携する「山梨教育」です。教職員組合と校長会と教頭会は「教育3者」として団結します。そして、教育行政やPTAとも協力して「教育5者」にもなり、「6～9者」になることもあります。

退職者は、「教育会」や「退職互助部」で現場をサポートしています。

山梨の概要を後述して、全連退50周年のお祝いの言葉といたします。

◇ 現在までのあゆみ

山梨県の退職した教職員の組織は、戦前から「退職校長会」があった。その後、昭和34年に創立した「山梨教育会」・昭和37年に発足した「山梨県退職教師の会」の3組織が並立していた。

昭和40年「全国連合退職校長会」の設立に呼応して「退職校長会」が加盟した。

昭和47年に現職の教職員が教育振興をめざし「山梨県教育協議会」を設立をした。これを契機として退職教師の組織を「山梨県教育会」に統合し再編した。

したがって、「退職校長会」は「山梨県教育会」の一部会として組織し、活動してきたが、多くの困難に遭遇し、細々とした歩みをにっていた。

平成22年、関東甲信越地区連絡協議会山梨大会を機として組織の確立拡大に取り組み、会則の改定、役員構成、活動目標などを定めて、新たな歩みを始めた。

◇ 目標と活動

本会の目標として、「山梨の教育の振興に寄与すると共に、会員相互の旧交をあたためることを目標とする」と定め、この目標の達成のために、

1. 現職校長会や教育会や退職互助部会と連携し、教育振興のための活動をする。
2. 会員相互の親睦や福祉の充実に努める。
3. その他、教育振興のために学校現場への協力の方法などを探る。
4. 会員への全国的な教育情報の提供をする。

◇ 役員構成

会長（1名）副会長（若干名）理事（若干名）支部長（若干名）と顧問を置く。

・平成26・27年度の役員

・会長 = 山縣永良 ・副会長 = 齋藤尚子、樋口高子、幡野勝彦、手塚茂松

・理事 = 酒井 哲、佐藤紀征、田草川 眞 ・事務局 = 桜林俊一